会 議 録

会	議の	名	称	令和3(2021)年度第3回枚方市NPO活動応援基金支援審査会
開	催	日	時	令和4(2022)年3月27日(日)13時00分から18時15分まで
開	催	場	所	枚方市役所別館4階 第2委員会室
出	席		者	会 長:海老原智子委員 副会長:山田裕子委員 委 員:北真収委員、津浦啓子委員、中嶋貴子委員、 余田圭二郎委員
欠	席		者	なし
案	件		名	1. 枚方市NPO活動応援基金による補助事業の審査について 2. その他
提上名	出された	資料等	を の	資料① NPO活動応援基金補助事業 審査の流れ 資料② 第3回枚方市NPO活動応援基金支援審査会 タイムスケジュール 資料③ 補助金交付申請状況 資料④ 過去の申請実績・事業内容・講評内容 資料⑤ 申請書一式
決	定	事	項	補助事業の採択と補助額
会議の公開、非公開の 別及び非公開の理由				公開。 但し、案件1については枚方市情報公開条例第5条第6号の規定する非公開情報を含む事項に関する審議等を行うため、一部非公開。
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由				公表。 但し、会議の非公開部分については、結果のみ公表。
傍	聴者	D	数	0人
所 (管 事 務	部局	署)	市長公室 市民活動課

1 開 会

○ 海老原会長

定刻となりましたので、これより令和3(2021)年度第3回枚方市NPO活動応援基金支援審査会を開催いたします。本日は、ご多忙のところ、ご出席いただきましてありがとうございます。それでは案件に入る前に、まず、委員の出席状況について事務局より報告をお願いします。

○ 事務局

本日は、委員6名中、6名の出席を頂いており、委員の過半数に達しておりますので、枚方市附属機関条例第5条第2項の規定により、会議が成立していることをご報告させて頂きます。

次に、本審査会の公開・非公開についてご説明いたします。本市では、会議の公開、 非公開について、枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程を定めており、第3条 で、審査会の会議は特別な場合を除き、原則、公開するものとしております。なお、審 査会の会議の「公開」または「非公開」の決定は、当該会議に諮って行うものとされて おります。昨年の「補助事業の審査」を議題とした第3回の審査会においては、法人に よるプレゼンテーションのみ公開とし、「事前調整」及び「補助事業の審査」について は、枚方市情報公開条例第5条第6号による非公開情報(公表することにより審議にお いて、率直な意見交換や意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれのある情報)が含 まれる事項について審議を行うため、「非公開」としておりました。

○ 海老原会長

今回の審査会においても、事前調整及び補助事業の審査の部分については、「非公 開」とすることでよろしいでしょうか。

○ 各委員

異議なし

○ 海老原会長

それでは、事前調整及び補助事業の審査の部分については、「非公開」の取扱いとさせていただきます。会議録については、どうでしょうか。

○ 事務局 |

会議録についても、同様に枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程第6条及び第7条に定められており、「公開」または「非公開」の決定も、当該会議に諮って行うものとされております。

○ 海老原会長

会議録についても会議の公開と同様の取り扱いとし、基本的に「公表」し、事前調整及び補助事業の審査の部分について「非公表」とすることでよろしいでしょうか。

各委員

異議なし

○ 海老原会長

会議録についても、同様の取扱いとさせていただきます。それでは、非公開である事 前調整に入ります。事務局から説明をお願いします。

(配付資料の確認・資料説明/内容については、非公開)

2 議 題

<案件(1)枚方市NPO活動応援基金による補助事業の審査について>

【 申請法人によるプレゼンテーション及び質疑応答 】

法人名:特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑

事業名:放課後の子どもの居場所「放課後クラブあおむし」作り事業

○ えほんのお部屋ひまわり畑

(プレゼンテーション 約5分)

北委員

当該事業については、過去から継続して申請されている事業ですが、今年度は昨年度 の申請内容と比較して申請額が増加しています。その理由について教えてください。

○ えほんのお部屋ひまわり畑

昨年度の当該事業の決算では、法人自己資金を35万円以上支出しており、申請額増加の理由としては、当該事業において、安全に子どもを見守るにあたり、少なくとも保育スタッフが2名必要であり、その保育スタッフへの謝金の費用が必要となるためです。スタッフへの謝金を含め、当該事業の実施に必要な支出を積算の根拠として、申請額を決めています。

北委員

貴法人のホームページを拝見すると、年間の登録料が 5,000 円、利用料が月 500 円と 掲載されていますが、実際の利用者の費用負担はどうなっていますか。

○ えほんのお部屋ひまわり畑

1回でも当該事業を利用する場合は、登録料として年額5,000円を利用者に負担してもらっています。また、実際に利用する月数に応じて月額500円いただいています。

毎月固定して利用する児童だけでなく、三季休業中のみの利用を目的としている児童 もいます。

○ 余田委員

当該事業の対象者は、留守家庭児童会室に入室できなかった児童でしょうか。

○ えほんのお部屋ひまわり畑

現在の利用者は、聴覚過敏や集団生活に上手くなじめなかった等の理由で留守家庭児 童会室を利用していない児童が多い状況です。また、留守家庭児童会室は、保護者が週4 日以上就労している等の入室要件があるため、その要件を満たさない世帯の児童の利用 も多い状況です。

余田委員

当該事業を積極的に PR することで利用者が増えた場合、今回申請いただいた事業実施体制では対応できないのではと懸念しています。何か法人側で検討されていますか。

○ えほんのお部屋ひまわり畑

継続して当該事業を実施してきた経験上、利用者が一度に 20~30 人増えることは考え にくい状況ですが、利用者が増加した場合には、その都度ボランティアを募っていくし かないと考えています。増加に伴い、その対応を考えることも法人としてのチャレンジ であると捉えています。

○ 山田副会長

現在利用している児童は、複数の小学校区から通所しているのでしょうか。

○ えほんのお部屋ひまわり畑

現在は、3つの小学校区の利用者がいます。

○ 山田副会長

当該事業の主な対象者は、留守家庭児童会室へ入室していない児童ということですが、そもそも対象となる児童数は少ない様に思います。潜在的な対象児童が何人程度であると法人側で想定していますか。

○ えほんのお部屋ひまわり畑

当該事業の潜在的な対象者数については、検討していません。過去からの実績では、 あまり多くないと考えています。しかし、留守家庭児童会室に上手くなじめなかった児 童の保護者から、留守家庭児童会室に代わる放課後の居場所があったので、小学校を卒 業することができたという感謝の言葉をいただいたこともあります。

○ 山田副会長

保護者が希望して利用申し込みを行うことが多い状況ですか。利用している児童が、 利用していない児童を誘って通所することもありますか。

○ えほんのお部屋ひまわり畑

保護者から利用の申し込みであることが大半ですが、利用している児童がその他の児童を誘ったことがきっかけとなり、利用の申し込みがあったこともございます。

○ 山田副会長

コロナ禍で、過去の状況から変化はありましたか。

○ えほんのお部屋ひまわり畑 |

新型コロナ罹患後に復帰した児童との関わり方などをスタッフ間で検討しました。

○ 山田副会長

当該事業については、需要は少ないけれども児童の居場所として欠かすことができないものとして、当該事業の収益のみで実施することが困難であると思われます。本補助制度から補助金の交付がなく、貴法人の負担が大きくなった場合であっても、事業の実施を予定していますか。

○ えほんのお部屋ひまわり畑|

実施を予定しています。法人の理想としては、利用者から利用料を徴収せずに実施したいと考えています。しかし、福祉的な活動は援助者や賛同者を増やすことが大切であると感じていますので、団体希望寄附をさらに活用していきたいと考えています。

○ 山田副会長

当該事業については、本補助金以外での応援先を増やさなければ継続が難しいと感じますので、積極的に取り組んでいただきたいと感じています。

中嶋委員

貴法人の自己資金が当該事業の費用に充てられていますが、当該事業以外の事業収益 から資金を補填することにより、当該事業の継続を可能にする計画はありますか。

○ えほんのお部屋ひまわり畑

今後も当該事業以外の事業収益を補填することで、当該事業を継続する計画となっています。

法人名:特定非営利活動法人枚方市手話通訳協会

事業名: ろう手話講師育成事業

○ 枚方市手話通訳協会

(プレゼンテーション 約5分)

北委員

既存事業として4回ほど講座を無料で実施していたものについて、補助申請事業として講座回数を10回に増やし、受講料を有料とすることを計画されていますが、既存事業の参加者から受講料を有料とすることに対し、不満はでないかと懸念しています。

また、ろう手話講師を育成することに関して、貴法人の中で、どのような社会的効果 を発生させる狙いがありますか。

○ 枚方市手話通訳協会

既存事業では、専門的に手話を学び、手話等に関する現状を共有する時間が不足している現状があります。また、他の都道府県の事例では、有料の手話講座は存在しています。勉強するために受講料を払うことは当然であり、ろう者も有料で技術を身に着けていくということも重要であると考えています。また、有料にすると、より真剣に学習するという姿勢が受講者に生まれると考えています。

ろう者の手話講師を育成する目的については、ろう者等へ手話を教えるにあたり、手話の文法等をしっかり学ぶ必要があり、手話講師の人数は非常に少ない現状があるため、法人として手話講師の育成に取り組む必要があると考えています。

また、ろう学校において手話を教えていなかった過去があるため、手話を学習した者が次の世代に状況を伝えていく必要があります。しかし、手話の文法や構文を高齢者に説明しても、なかなか受け入れられないが、若い世代であれば言語で手話として受け止めてもらうことが出来るため、若い世代の手話講師を育てていきたいと考えています。

○ 山田副会長

現在、ろう学校ではどのような教育が行われていますか。

○ 枚方市手話通訳協会

口話教育と手話教育の両方が実施されています。

○ 山田副会長

ろう者の手話講師の育成について、積極的に取り組んでいる自治体はありますか。

○ 枚方市手話通訳協会

ろう者の手話講師の育成については、他市でもあまり例がないものです。本講座の講師としては、国際的・専門的に言語学を学んだ方をお招きしようと考えています。

中嶋委員

収支予算書において、手話テキストの作成にかかる費用が計上されていますが、講習 に使用できるテキストは現在存在しないということでしょうか。

また、作成したテキストについて、将来的に出版することは可能ですか。

○ 枚方市手話通訳協会 |

ろう者の手話講師を育成のために、新たにテキストを作成することを計画しています。ろう者に向けた手話テキストについては、既存のものがあまりないため、出版できたらうれしいと思います。ろう者に向けて視覚的なテキストになると考えています。

○ 海老原会長

テキスト作成には、講座にお招きする講師の方もかかわるということでしょうか。

枚方市手話通訳協会

講師と協力し、ろう者を対象とするため、日本語の記載がなく、絵や写真が中心となった視覚的なテキストを作成する予定です。講座の内容としては、手話に触れたことのないろう者への手話講座とともに、聴覚障害がなく手話を習得していない人との接し方の講座となる見込みです。

○ 中嶋委員

日本語表記がなく、基礎的なものであるということは、子どもや海外の方も活用する ことができるものでしょうか。

○ 枚方市手話通訳協会

活用できるようなものを作成する予定です。

○ 山田副会長

既存の手話テキストは、当該事業への活用が難しいのでしょうか。

○ 枚方市手話通訳協会

既存のテキストは、ろう者を対象として作成されていないため、ろう手話講師を育成 するためには活用できない現状があります。

法人名:特定非営利活動法人ふれあいネットひらかた

事業名:「夏休み特別企画!ランチ付き子ども絵画教室」

~夏休みの思いっきり絵をかいてみよう~

○ ふれあいネットひらかた

(プレゼンテーション 約5分)

北委員

児童の芸術性や創造性を養う面白い事業であると感じました。貴法人がこれまで本補助金に申請された事業には、保育付きというコンセプトがありましたが、当該事業については、別のコンセプトのものであるかお伺いします。

また、収支予算書におけるスタッフの人件費について、ボランティアに対する謝礼という範囲を越えている様に思いました。社会的意義の高い事業ということを従事者に説明し、納得をしてもらえれば、より人件費を抑えられるのではないでしょうか。

○ ふれあいネットひらかた

当法人は、スタッフに対してボランティアではなく、仕事に見合った報酬を支払うという趣旨で活動しています。保育付きの事業を実施するためには、保育士が5、6人必要ですが、ボランティアでは人員を集めることが出来ないため、人件費を上げる必要があり、費用がかかっている状況です。今年度は、保育付き事業に対し、他の助成金を申請しています。

また、当該事業で計上している報酬については、一般的な会社等が専門的人員を配置する場合の人件費と比較すると、かなり安価となっているのではないかと思います。

小学校の授業として、絵画を学ぶ時間が減少・機会も縮小し、児童の創造性を養う機 会が減少しているため、絵画教室を開催し補っていきたいと考えています。

) 中嶋委員

当該事業については、夏季3日間の一度きりの開催で、定員20名とする事業でしょうか。事業の目的は理解できますが、今後の取組予定を教えてください。

○ ふれあいネットひらかた

一日限りの事業と比較すると、3日間継続して実施した方が総合的なスキルを教えることができ、友達もできると考えています。自分の作品を発表することにより、コミュニケーションの力を育てることも目的としています。

○ 余田委員

新型コロナウイルス感染症などの影響で、ランチの提供について、施設の利用等の制限がかかる可能性もありますが、その場合は事業内容を変更する予定でしょうか。

○ ふれあいネットひらかた

ランチの提供については、保護者の負担軽減を目的としているため、新型コロナウイルス感染症の影響があったとしても、事業内容の変更はしない予定です。法人としては、必ず実行したいと考えています。

津浦委員

南部生涯学習市民センターにおいて、現在絵画教室を実施しているとのことですが、 南部生涯学習市民センターでの活動を継続しつつ、当該事業も実施するということで しょうか。

○ ふれあいネットひらかた

南部生涯学習市民センターでの活動と並行して実施を予定しています。

津浦委員

保護者の負担軽減を目的としているとのことですが、参加児童の送迎は保護者が行う ことを想定していますか。児童のみでも参加可能でしょうか。

○ ふれあいネットひらかた

保護者に送り迎えをしてもらうことを想定しています。その部分についても、ランチがあるかないかの影響が大きいと考えています。

(休憩)

法人名:特定非営利活動法人関西生活文化研究会おでかけ

事業名:要介護高齢者の余暇活動のための外出ニーズに応える事業

○ 関西生活文化研究会おでかけ

(プレゼンテーション 約5分)

〇 中嶋委員

収支予算書において、補助対象外の費用が多いように感じました。補助対象ではない 経費について、どのように法人内で費用を補填される計画であるか教えてください。

○ 関西生活文化研究会おでかけ |

当法人では、介護事業も実施しており、それらの法人内の当該事業以外の事業収益から費用を捻出することを計画しています。

○ 山田副会長

貴法人は、介護事業を実施する他の法人事務所と併用しているようですが、事務所所 在地が同一となっている他の法人は、貴法人の関係法人でしょうか。役員の構成も同じ であり、関係性が密であるのではないかと感じます。

また、短期借入金は本来、1年単位で償還するものですが、同じ金額で複数年にわたって借り入れています。どのような相手方から借り入れているものでしょうか。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

短期借入金については、法人の構成員の親族から借り入れています。長期借入金は、 金融機関から借り入れを行っています。

(山田副会長

収支予算書に計上されている福祉輸送と自費介護の違いを教えてください。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

福祉輸送は、車両によるものです。自費介護は、乗降車時など必要な時間に応じて実施する介護にかかるものとして設定しています。

○ 山田副会長

地域包括支援センターとの取り組みがどのようなものであるか教えてください。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

当該事業のパンフレット等の設置を依頼し、地域包括支援センターから利用者の相談を受けている状況です。

中嶋委員

過去に本補助金を申請した事業との違いを教えてください。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

過年度に申請した事業との大きな違いはありません。今後、当該事業を見学してもらうボランティアを増やしていこうと考え、広報ひらかたへ当該事業の見学会のお知らせを定期的に掲載する予定です。

○ 中嶋委員

当該事業への支援者については、見学会からボランティア参加につなげることや関係 機関との協力により、期待ができる状況と考えてよいでしょうか。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

その予定です。

北委員

新型コロナウイルス感染症に対する対策について、事業計画書には記載されていませんが、どのような対策しているのか教えてください。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

当該事業に使用する車両へアルコールスプレーやマスクを設置しています。また、新型コロナウイルス対策に取り組んでいることを示す枚方市発行のステッカーを掲示しています。

○ 海老原会長

収支予算書の利用者数について、収入の部における活動収益の積算内容と、支出の部 おける人件費の積算に相異があるため、その理由を教えてください。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

費用については、従事者の時間を拘束するため、拘束している時間の人件費を積算しています。収入については、年間の毎週木曜日の利用件数を積算しています。

) 山田副会長

貴法人は、過去複数年に亘って NPO 活動応援基金から当該事業に対し補助金を交付されているが、補助金交付により、当該事業は実施しやすくなっていますか。

○ 関西生活文化研究会おでかけ

資金面で助かっています。利用者数への影響はあまり実感していませんが、従事者の モチベーション向上につながっていると思います。

法人名:特定非営利活動法人エンパワセツルメント

事業名:自由な外出が困難な人の目的地付添を含む外出支援事業

○ エンパワセツルメント

(プレゼンテーション 約5分)

北委員

1時間あたり3,000円の利用料は、利用者にとって高額ではないでしょうか。料金設定の理由を教えてください。

また、初年度の利用回数を 40 回と見込んでいますが、固定の利用者を想定しているのでしょうか。

○ エンパワセツルメント

事業開始当初は、固定の利用者を見込んでいますが、その後は枚方市民に広く利用してもらいたいと考えています。

利用料の根拠については、ボランティアに対する人件費として1,000円、車両維持費に2,000円程度かかること想定し、設定しました。当該事業のニーズとしては、1人の利用者が1か月1回程度利用することを想定しています。利用者の親族が休暇を取得し外出する場合と比較すると、1か月に1回3,000円は利用者の許容範囲であると予想しています。また、他の事業所でも、自費対応を行う場合は、同程度の金額に設定されていることを確認しています。

○ 山田副会長

事業計画書において、認定されていない障害者という記載がありますが、どのような 対象者を指していますか。

○ エンパワセツルメント

介護保険の場合は、要支援、要介護など認定状況で利用できる制度に差があります。 また、障害認定等を受けていない方々も沢山いると考えています。当該事業は、そう いった方々を対象としていますが、人数等の実態の詳細については調査していません。 また、障害者であっても、現状の福祉制度では、金融機関の手続きや買い物、お花見 等の制度対象外活動では利用できないため、既存の制度外での利用を想定しています。

○ 中嶋委員

当該事業の実施体制について、車両の運転は一人で実施する想定でしょうか。車両を 使用しない介助も想定されていますか。

○ エンパワセツルメント

車両でのサービスの提供は、遠方へ移動することを希望している利用者を想定しています。公共交通機関や歩行で対応が可能であれば、車両を使用せずに対応します。

○ 中嶋委員

貴法人の事業報告における活動計算書を確認すると、人件費がほとんど記載されてい

ません。法人の管理運営については、無償のボランティアで対応していますか。

また、今後事業を拡大した場合も、無償ボランティアで対応する予定でしょうか。

○ エンパワセツルメント

現状は、無償のボランティアに頼っており、当該事業を実施した場合であっても、対 応が可能であると思っています。しかし、当該事業が軌道に乗り、事業収入が増えた場 合は、経理が得意な人材の雇用を検討します。

法人名:特定非営利活動法人ハーモニークラブ

事業名: えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業

○ ハーモニークラブ

(プレゼンテーション 約5分)

○ 山田副会長

当該事業は、具体的にどのような場所や方法で実施しますか。

ハーモニークラブ

えほんライブについては、地域の保育園が岡本町会館で主催している親子広場での実施を予定しています。YouTubeでの配信については、秋に実施する100人規模のイベントの内容を近畿大学の学生と連携し、配信することを予定しています。

保育オンラインサロンについては、コロナ禍ということもあり、対面での実施も検討 していますが、主にオンラインとなる見込みです。

○ 山田副会長

保育オンラインサロンの対象者は、どのような方を想定していますか。枚方市民が主な対象者でしょうか。

○ ハーモニークラブ

保育士、保育従事者、保護者などを対象としており、主として枚方市民の参加を想定しています。

中嶋委員

えほんライブの公演や配信に必要な機材などについて、貴法人へ技術面でサポートを 行う支援者等を募っていますか。

○ ハーモニークラブ

基本的には、法人内部で対応していますが、大規模なイベント等では、学生やプロの ミュージシャンにサポートしていただいています。

○ 中嶋委員

当該事業を実施するに至った動機を教えてください。

○ ハーモニークラブ

法人代表者自身が子育てをする中で、「親の肯定感が低い場合、子の行動をありのままに認めることが難しい」と気づき、その気づきを絵本や音楽にして発信したことがきっかけです。えほんライブを体験した保育士からも園児への対応が変わったなどのご意見をいただいています。

北委員

貴法人のホームページにリンクされている「一般社団法人日本適正力学協会」との関わりを教えてください。

○ ハーモニークラブ

当該法人から、ウェルスダイナミクスという自分らしさを伝える理論等を学び、えほ んライブ等に活用しています。

○ 余田委員

今後、有料講演を年間何回程度実施できると見込んでいるか教えてください。 また、年間何回程度実施すれば補助金の交付に頼らず運営できる見込みでしょうか。

ハーモニークラブ

コロナ禍で難しい状況ではありますが、有料講演を年 12 回程度実施する予定です。数年先の目標としては、法人が作成したコンテンツを利用する協賛保育園等を増やし、保育士の研修教材として提供していきたいと考えています。

○ 山田副会長

えほんライブの一公演あたりの視聴者数を教えてください。 また、保育オンラインサロンの参加人数や開催内容を教えてください。

○ ハーモニークラブ

えほんライブの視聴者数は 20~30 人程度です。保育サロンの参加者は主に保育士であり、2・3人の参加者から意見を伺いながら、保育のための歌等をお伝えしています。

○ 山田副会長

えほんライブのパフォーマーの育成は想定どおりに進んでいますか。

○ ハーモニークラブ

現在8名のパフォーマーを育成しています。えほんライブに対して興味をもっている 方でも、実際にやりたいと考える人は少ない状況ではありますが、最近では1名の参加 希望がありました。

○ 中嶋委員

事業収支予算書に記載されているボイストレーニングに対する謝礼に関しては、パフォーマーの専門的な育成費用を、法人が負担しているということでしょうか。

○ ハーモニークラブ

通常の練習については個人負担としていますが、イベント前の練習については法人が 負担しています。

〇 中嶋委員

育成費用を負担し、高品質なパフォーマンスを提供されるにあたり、受益者からパフォーマンスに見合った費用を徴収することは、考えていますか。

○ ハーモニークラブ |

小学校等でのパフォーマンスについては、徴収することを見込んでいます。

(事業審査/内容については、非公開)

【 審査結果 】

法人名:特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑

事業名:放課後の子どもの居場所「放課後クラブあおむし」つくり事業

結 果:団体希望寄附より50,000円、一般寄附より300,000円を補助する。

法人名:特定非営利活動法人枚方市手話通訳協会

事業名: ろう手話講師育成事業

結 果:一般寄附より130,000円を補助する。

法人名:特定非営利活動法人ふれあいネットひらかた

事業名:「夏休み特別企画!ランチ付き子ども絵画教室」

~夏休みに思いっきり絵をかいてみよう~

結 果:一般寄附より123,000円を補助する。

法人名:特定非営利活動法人関西生活文化研究会おでかけ

事業名:要介護高齢者の余暇活動のための外出ニーズに応える事業

結 果:一般寄附より104,000円を補助する。

法人名:特定非営利活動法人エンパワセツルメント

事業名:自由な外出が困難な人の目的地付添を含む外出支援事業

結果:団体希望寄附より10,000円、一般寄附より282,000円を補助する。

法人名:NP0法人ハーモニークラブ

事業名: えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業

結 果:一般寄附より80,000円を補助する。

○ 海老原会長

本日の補助事業の審査については、市長へ答申する予定となっております。本日の審議内容を事務局でまとめて、最終、会長の私に一任していただくということで、いかがでしょうか。

○ 各委員

異議なし

<案件(2) その他>

○ 海老原会長

その他案件がありましたら、事務局よりよろしくお願いします。

○ 事務局

その他案件はございません。

○ 海老原会長

それでは、これをもちまして、令和3 (2021) 年度第3回枚方市NPO活動応援基金 支援審査会を終了します。本日は、ありがとうございました。